

17年度 日和田小学校 研究主題

主体的な複式学習の学び方の追究 ～算数科の学習を通して～

主題設定の理由

昨年度は、極小規模校の本校で、やっと全学年に児童が1名以上揃い、本格的に複式授業のあり方を研究しはじめた。3名中2名の教諭が、複式授業を初めて経験するという状況の中で、何度も授業研究や授業交流を行い、児童も担任も、複式授業の進め方になれ、自信をもって指導にあたるようになった。

今年度は、入学児童がなく、低学年では複式が成立しないが、今年度2年生の児童は来年度は再び複式学級になる。そうした状況をふまえ、今年度は前年度のテーマを引き継ぎ、①児童一人一人に基礎基本の確かな定着を図るために、児童の実態に応じたきめ細かな指導、②児童一人一人が主体的に学習できるようになるために、学び方の修得、③お互いに学び合える授業の工夫、以上3点を研究の重点として実践を進めていきたい。

めざす子どもの姿

仲間との学び合いを通して、自分の学びを追求し、主体的に学習に取り組む児童

研究仮説

児童の実態に応じたきめ細かな指導をおこない、仲間とともに学び合える授業を工夫し、児童1人1人が自分の学びを追求していけば、主体的に学習に取り組み、確かな学力を身につけることができる。

今年度の研究の重点

重点① 児童一人一人に基礎基本の確かな定着を図るために、児童の実態に応じたきめ細かな指導

- ・ 個の実態に応じた指導の手だてや、評価の工夫
- ・ 極小規模校である本校独自の複式指導のあり方の追究として、一人で学習する子に多様な考え方を導く支援の手だて
- ・ ドリル学習・百ます計算の時間の位置づけなど訓練的学習の継続

重点② 児童一人一人が主体的に学習できるようになるために、学び方の修得

- ・ 「学習リーダー」の育て方（各学年間での系統性・他教科でも育成）
- ・ ノート作り（既習事項を確かめ、多様な考え方を導く。また、自分の考え方が足跡として残る。）

重点③ お互いに学び合える授業の工夫

- ・ 仲間学びでの教え合い、学び合いの工夫

研究推進の具体的計画

- 4月 研究についての共通理解、研究テーマ・内容の決定と研究計画の作成
- 5月17日 校内研究授業（高学年 道徳 柴田克樹教諭）
- 7月1日 校内研究授業（中学年 算数 松岡裕二教諭） 〈講師：岩田昌弘指導主事〉
- 8月 1学期研究のまとめと2学期の研究に向けて
- 10月18日 校内研究授業（低学年 算数 新屋幹男教諭） 〈講師：岩田昌弘指導主事〉
- 10月26日 校内研究授業（中学年 道徳 松岡裕二教諭）
- 12月8日 校内研究授業（高学年 算数 柴田克樹教諭） 〈講師：松岡猛高根中教諭〉
- 12月14日 校内研究授業（低学年 道徳 新屋幹男教諭）
-
- 12月15日 校内研究会 研究の成果と課題
- 1月 研究紀要執筆
- 2月 研究紀要完成

